第37期 報告書

（2014.3.1 ～ 2015.2.28）

イオンモール旭川駅前　2015年3月27日グランドオープン

イオン北海道株式会社

（証券コード 7512）

株主の皆さまへ

中期経営計画の4つの基本方針に基づく各種施策を着実に実施し、2015年度の業績予想数値を確保してまいります。

代表取締役社長
星野三郎

平素より当社経営に関しまして格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。

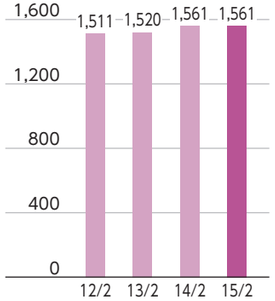
当事業年度は消費税増税や天候不順、電気料金の値上げ等厳しい環境下にありましたが、売上高前期比100.0%と前年実績を確保することができました。

当社は当事業年度を初年度とする中期経営計画を策定し、4つの基本方針に基づいて各種施策を実施しております。基本方針の一つである「信頼される企業経営への挑戦」では、ご利用金額の一部が地域貢献に活用される「ご当地WAON」の利用拡大に取り組んでおります。利用率も前事業年度に比べ3.7ポイント拡大したことで、感謝デーやわくわくデー等のセールスが好調となり、売上高前年実績確保に寄与することができました。

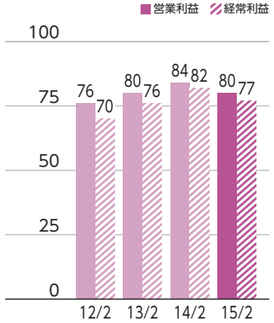
2015年度も厳しい消費環境が続くものと考えますが、4つの基本方針に基づく施策を着実に実施することで2015年度の業績予想数値を確保してまいりたいと考えております。株主の皆さまには引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

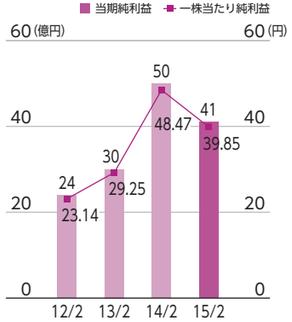
売上高 (単位：億円)



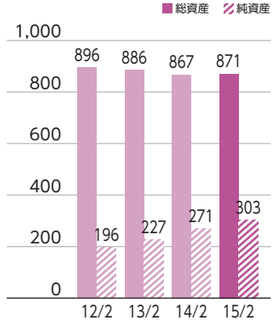
営業利益・経常利益 (単位：億円)



当期純利益



総資産・純資産 (単位：億円)



決算のポイント

【売上動向】
- 4月の消費税増税や競合の出店等による売上の落ち込みはありましたが、売上高前期比100.0%と前年実績を確保することができました。
- 天候不順の影響により売上が苦戦した衣料（売上高前期比96.5%）、住居余暇（同97.7%）は前年実績を下回りましたが、感謝デーやわくわくデーが好調な食品（同102.4%）が売上伸長し、全体の売上をけん引しました。

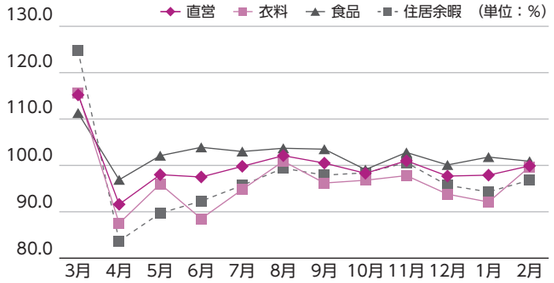
【利益動向】
- 値下げや売価変更の増加等により売上総利益率が悪化しましたが、販管費を既存店前期比99.2%に削減したことで、営業利益前期比95.2%と減益額を最小限に留めることができました。
- 当期純利益は、前期が税効果会計の会社区分変更により法人税等調整額が減少し増益となった影響により、前期比82.2%と減益となっております。

部門別売上高実績

(単位：百万円)

	売上高	前期比
衣料	33,767	3.5%減 ↘
食品	87,367	2.4%増 ↗
住居余暇	31,827	2.3%減 ↘

部門別売上高前年比推移



2015年度業績見通し

- 前年以上の積極的な投資による活性化を推進し、世の中の変化とお客さまニーズに対応したお店づくりを進めることで売上高1,610億円の達成を目指します。
- 堅調な食品の売上をさらに拡大させることにより売上総利益額の拡大を図るとともに、活性化によるテナント収入アップによる営業収入の拡大で、営業利益82億円の達成を目指します。

売上高	1,610億円（前期比3.1%増）
営業利益	82億円（前期比1.5%増）
経常利益	78億円（前期比0.4%増）
当期純利益	37億円(前期比10.7%減)

トピックス　中期経営計画における4つの基本方針に基づき各種施策を実施してまいりました。

＜圧倒的な地域一番店・企業への挑戦＞

●イオン旭川駅前店オープン

3月27日（金）にイオンモール旭川駅前がオープンいたしました。当社は1階フロアに核店舗として、食や美と健康を中心とした新しい生活のスタイルを提供する最新型の「イオンスタイルストア」イオン旭川駅前店を出店しました。食のフロアでは、「ウェルネス」「オーガニック」「簡単便利」「即食」などのキーワードを切り口に、出来立て総菜を提供する「デリカワールド」や、地元野菜を取りそろえた「サラダワールド」など、お客さまのニーズに対応した売場を構築いたしました。

地元野菜を取りそろえた農産売場

●店舗改装の実施

当社ではお客さまから地域で一番頼りにしていただけるお店の実現を目指して毎期積極的な改装を実施しており、今年度は直営売場、テナントゾーン合わせて46件の改装を実施しました。10月には札幌平岡店のテナントゾーンの改装を行い、道内初出店のテナントや人気のテナントを導入するとともに、フードコート全店で、入れ替えまたは改装を実施したことでお客さまからご好評いただきました。

北海道初出店ブランド（札幌平岡店）

＜信頼される企業経営への挑戦＞

●地産外消の取り組み

当社では、北海道の旬の食材や人気のあるスイーツ等を道外、海外の方にも知っていただくことで、北海道ブランドの価値向上に貢献すべく、当事業年度より地産外消の取り組みをより強化して実施しております。昨年10月に本州と四国のイオン344店舗で開催された「北海道大収穫祭」と、11月にタイのバンコクで開催された北海道物産展「うまいっしょ、北海道！2014」では、お取引先さまと協力して道産品調達のサポートを行いました。

道外での「北海道大収穫祭」

●ご当地WAONの取り組みについて

当社ではお買い物金額の一部が地域貢献に活用されるご当地WAONを発行しております。2011年に発行した「ほっかいどう遺産WAON」の累計発行枚数は17万枚以上となり、全国で100種類以上あるご当地WAONの中でトップの発行枚数となっております。また、昨年の10月には子育て支援に寄付される「はこだてWAON」を、今年の3月には旭山動物園の魅力向上と中心市街地の活性化に利用される「あさひかわWAON」を新たに発行いたしました。

はこだてWAON（左）とあさひかわWAON（右）

＜新たな成長領域への挑戦＞

●まいばすけっと出店30店舗達成

まいばすけっとは昨年12月に30店舗目となる「まいばすけっと北1条東1丁目店」を出店いたしました。これにあたり、30店舗達成とお客さまへの日頃のご愛顧に感謝し、記念セールを実施しました。今後も身近なお店としてお客さまの不便を解消すべく、100店舗体制を目指して出店を加速させてまいります。

まいばすけっと30号店

●インバウンドの取り組み

当社は増加する外国人観光客へ対応すべく、昨年の10月から免税対応を開始いたしました。2月には中国の春節休暇での観光客増加を見込み、お土産として人気の高い医薬品・化粧品・お菓子売場で人気商品を拡大して売り込みを図るとともに、多くの外国人観光客の方に来店していただくべく、ホテルでのパンフレット配布などを行いました。

人気のスキンケア商品の展開

＜革新的な企業風土づくりへの挑戦＞

●ロールプレイングコンテストの実施

当社では年に1度、テナント従業員を対象にした接客コンクールである「ロールプレイングコンテスト」を実施しています。各店舗から選ばれた従業員が、外部から招かれた講師をお客さま役として舞台上で実際に接客し、その様子を競う大会となっております。テナント従業員のモチベーション向上だけでなく、お客さまにご満足いただける接客技術の向上に役立てており、ショッピングセンター全体でのお客さま満足の向上に努めております。

ロールプレイングコンテスト

●チームカイゼン活動の取り組み

当社では、日常の仕事の中から改善・改革事例を相互共有し、良い事例は全店で水平展開することを目的とした「チームカイゼン活動」を実施しております。直営売り場の従業員ほぼ全員が活動に参加し、特に現場で働くパート社員が中心となって地道な取り組みを続けることが当社の大きな力となっています。

製造効率改善の取り組み

財務諸表（概要）

◆損益計算書の概要

（単位：百万円）

	第36期 2013.3.1～2014.2.28	第37期 2014.3.1～2015.2.28	増減率 (%)
直営売上高	156,159	156,182	0.0
売上総利益	42,261	41,907	△ 0.8
営業総利益	58,741	58,279	△ 0.8
販売費及び一般管理費	50,250	50,198	△ 0.1
営業利益	8,491	8,080	△ 4.8
経常利益	8,257	7,765	△ 6.0
当期純利益	5,036	4,141	△ 17.8

ポイント1　売上高は前年実績を確保

感謝デーや道産デーなどが好調な食品が売上をけん引し、売上高前年実績を確保しました。

ポイント2　営業利益は前期比4.8％の悪化

天候不順の影響により衣料、住居余暇での売上が苦戦し、売価変更が増加したことで売上総利益額が減少し、営業利益は減益となりました。

◆貸借対照表の概要

（単位：百万円）

	第36期 2014.2.28	第37期 2015.2.28	増減額
流動資産	20,302	23,157	2,855
固定資産	66,488	64,025	△ 2,462
有形固定資産	52,710	51,613	△ 1,096
無形固定資産	1,209	1,058	△ 151
投資その他の資産	12,569	11,353	△ 1,215
流動負債	39,542	41,742	2,200
固定負債	20,117	15,119	△ 4,997
純資産	27,130	30,321	3,190
総資産	86,790	87,183	393

ポイント1　有利子負債が減少

長期借入金の減少により固定負債が49億97百万円減少いたしました。短期借入金と合わせた有利子負債合計では44億71百万円減少し、有利子負債依存度は18.3%に改善されました。

ポイント2　純資産が増加

純資産は利益剰余金が増加したことにより前事業年度末に比べ31億90百万円増加しました。これにより自己資本比率は34.7%に向上いたしました。

◆キャッシュ・フローの概要

（単位：百万円）

	第36期 2013.3.1～2014.2.28	第37期 2014.3.1～2015.2.28
営業活動によるCF	11,805	8,802
投資活動によるCF	△ 2,861	△ 2,662
財務活動によるCF	△ 8,816	△ 5,509
現金及び現金同等物の増減額	126	631
現金及び現金同等物の期首残高	2,549	2,675
現金及び現金同等物の期末残高	2,675	3,307

ポイント

税引前当期純利益や減価償却費に加え、預り金の増加などにより営業活動によるキャッシュ・フローは88億2百万円の収入となりました。また、長期借入金の返済や配当金の支払い等により財務活動によるキャッシュ・フローは55億9百万円の支出となりました。

会社情報

会社概要（2015年2月末日現在）

社名	イオン北海道株式会社
本社	〒003-8630　札幌市白石区本通21丁目南1-10
事業内容	総合小売業
設立	1978年4月5日
資本金	61億43万円
上場金融商品取引所（証券コード　7512）	東京証券取引所市場第一部 札幌証券取引所
決算期	2月末日
売上高	1,561億円（2014年3月～2015年2月）
店舗数	64店舗
従業員数	6,912名
主要取引銀行	北洋銀行、三井住友信託銀行 みずほ銀行、北海道信用農業協同組合連合会、 三菱東京UFJ銀行、北海道銀行、農林中央金庫

取締役・監査役（2015年5月22日現在）

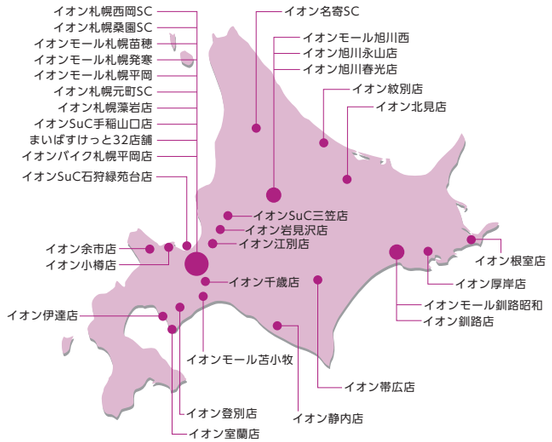
代表取締役社長	星野三郎
取締役	山田重道
取締役	竹垣吉彦
取締役	橋本優
取締役	清水信昭
取締役	佐方圭二
常勤監査役	福元英介
監査役	吉岡征雄
監査役	福岡眞人
監査役	宮崎浩

注：佐方圭二氏は社外取締役であります。
　：吉岡征雄氏、福岡眞人氏、宮崎浩氏は社外監査役であります。

執行役員（2015年5月22日現在）

常務執行役員	山田重道	商品本部長
執行役員	竹垣吉彦	管理本部長
執行役員	橋本優	営業本部長
執行役員	清水信昭	管理本部副本部長
執行役員	笠島和滋	商品本部副本部長兼 コーディネーター部長
執行役員	山本治	営業本部道央事業部長
執行役員	田中史之	営業本部道南事業部長
執行役員	松川陽一	営業本部道北事業部長
執行役員	水野良三	営業本部ＳＣ事業部長
執行役員	熊谷一弘	まいばすけっと事業部長
執行役員	大野芳高	管理本部 広報・環境社会貢献部長
執行役員	豊田和宏	管理本部財務経理部長
執行役員	相馬仁美	営業本部営業企画部長
執行役員	渡辺昌弘	商品本部食品商品部長
執行役員	辻野裕一	経営管理統括部 経営企画部長

店舗情報（2015年2月末日現在）



株式の状況（2015年2月末日現在）

発行可能株式総数	普通株式　107,500,000株 A種種類株式　24,500,000株 （※5月22日現在 普通株式　130,500,000株 A種種類株式　1,500,000株）
発行済株式総数	普通株式　100,189,016株 （自己株式752,828株含む） A種種類株式　1,500,000株
単元株式数	100株
株主数	普通株式　19,657名 A種種類株式　1名

大株主（上位10社）（2015年2月末日現在）

株主名	持株数			持株比率
	普通株式	A種種類株式	合計	
イオン株式会社	79,441,000株	1,500,000株	80,941,000株	80.2%
イオンリテール株式会社	5,604,720株		5,604,720株	5.6%
加藤産業株式会社	1,200,000株		1,200,000株	1.2%
イオン北海道従業員持株会	922,288株		922,288株	0.9%
株式会社北洋銀行	559,400株		559,400株	0.6%
総合商研株式会社	421,800株		421,800株	0.4%
メリルリンチ日本証券株式会社	414,000株		414,000株	0.4%
北海道コカ・コーラボトリング株式会社	380,000株		380,000株	0.4%
東洋水産株式会社	319,500株		319,500株	0.3%
モリリン株式会社	300,000株		300,000株	0.3%

注：持株比率の算定は、自己株式（752,828株）を除外して計算しております。

株主優待（2015年2月末日現在）

2月末日の株主名簿に記載された株主さまに、保有株式数に応じて株主様ご優待券を贈呈いたします。また500株以上保有の個人株主さまには、全国のイオングループ162店舗に開設している「イオンラウンジ」をご利用できる「株主さまカード」を発行いたします。

【株主様ご優待券の贈呈】
年1回100株以上保有の株主さまに優待券を贈呈します。

保有株式数	優待内容
100株 ～ 999株	100円券×　25枚＝　2,500円分
1,000株 ～ 1,999株	100円券×　50枚＝　5,000円分
2,000株以上	100円券×100枚＝10,000円分

【イオンラウンジのご利用】
お買物の合間にごゆっくりとおくつろぎいただくために、ラウンジ会員さまに限定したサービスをご用意しております。全国のイオンラウンジ設置店舗にて株主さまカードをご提示のうえお気軽にご利用下さい。有効期限は発行後1年間とし、それぞれに記載されている期限とします。

【株主様ご優待券のご利用可能店舗】
株主様ご優待券は全国18社（※）が運営するイオン、マックスバリュ、スーパーセンター、まいばすけっと、ザ・ビッグなどの直営店舗でご利用いただけます。

（※）イオンリテール㈱、イオン北海道㈱、イオン九州㈱、イオン琉球㈱、イオンビッグ㈱、マックスバリュ北海道㈱、マックスバリュ東北㈱、マックスバリュ南東北㈱、マックスバリュ関東㈱、マックスバリュ東海㈱、マックスバリュ中部㈱、マックスバリュ長野㈱、マックスバリュ北陸㈱、マックスバリュ西日本㈱、マックスバリュ九州㈱、イオンスーパーセンター㈱、㈱光洋、まいばすけっと㈱

但し、酒類、タバコ、切手、印紙、はがき、商品券、プリペイドカードその他各社の指定する商品の購入、ネットショップ等ではご利用できません。一部の店舗・売場でご利用いただけない場合がございます。また、専門店でのご利用はできません。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会　毎年2月末日 期末配当金　毎年2月末日 中間配当金　毎年8月31日 そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168－0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031
（インターネットホームページURL）	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	当社ホームページに掲載いたします。 http://www.aeon-hokkaido.jp/finance_03.html

木を植えています
私たちはイオンです

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。